(令和8年度10月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

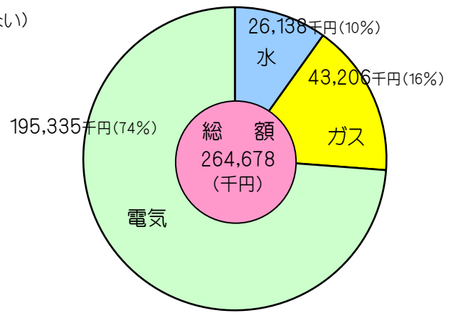
光熱水量の現状は、下記のとおりです。

(1)大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約2億6千万円/年です。

大学・各附属学校・こども園(いずみナーサリー・国際交流留学生プラザ・旧同窓会は含まない)

(2)電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約73万円/日の費用です。

(電気:約54万円/日、ガス:約12万円/日、水道:約7万円/日)



昨年度の光熱水使用料金

○ 省エネルギー対策の目標値について

本学では省エネルギー対策の目標値を設定して、各種の取組みや啓蒙を行っています。

(1)目標値:年平均1%以上の改善

『(省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律』の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。

(1)15年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。

(2)老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型照明器具に順次更新しています。

(3)建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。

(4)省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギーの協力について

電気・水・ガスの使用量、料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。

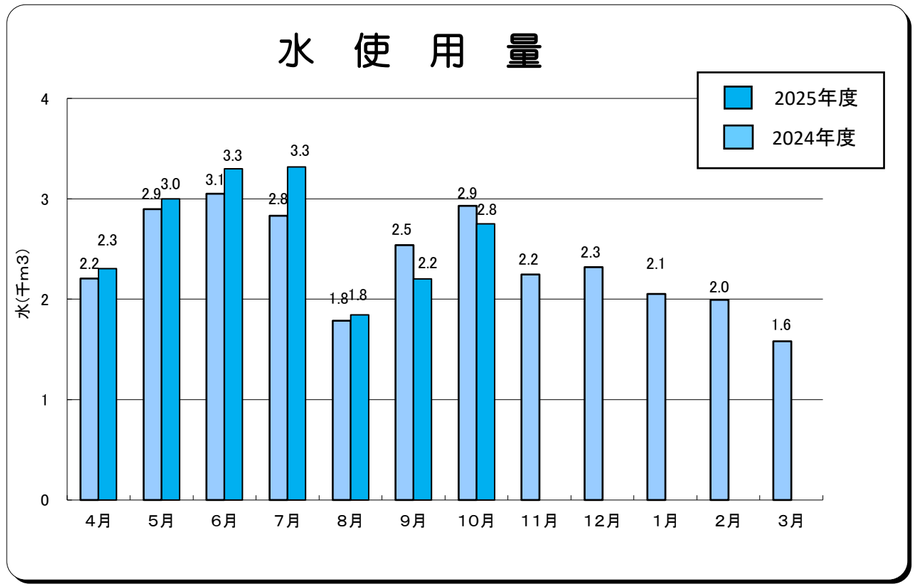
(1)教室や実験室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。

(2)エアコン使用時の室温は、冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。(エアコンの設定温度ではなく、室温とする。)

(3)トイレの暖房便座は、「節電モード」で使用して下さい。

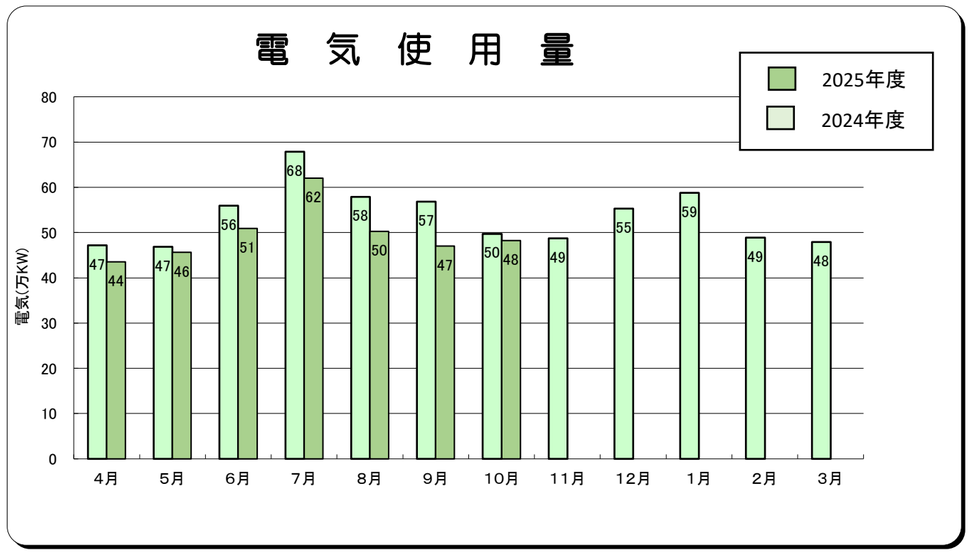
(4)使用していない電気製品は、コンセントから抜いて下さい。

(5)建物内の移動で1階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



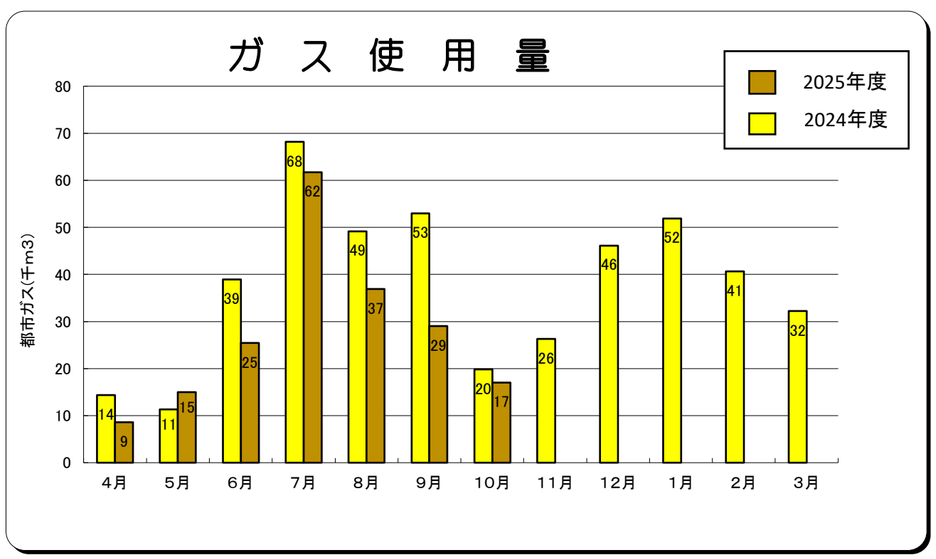
＜水使用量の解説＞

定期的な漏水調査及び修理を行うこと、および、
各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



＜電気使用量の解説＞

老朽化したエアコンの更新や照明器具をLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を
人感センサー式に改修して、節電に努めています。



＜ガス使用量の解説＞

建物改修時には、ガスヒートポンプエアコンを高効率型へ更新することにより、ガスの使用量の
削減に努めています。

文書保管先（Excel）：電気A/8.電力管理/検針/光熱水量の公表/(年度)